

一体化したセーフティの徹底

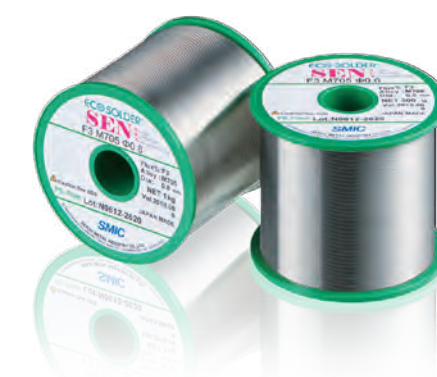
昨今は、世界的に品質・調達・労働環境などに対する安全性が問われており、お客様から安全性に関するご要望も寄せられています。千住金属工業グループは有用な製品を世に供給する企業として、ステークホルダーの皆さまの安心安全を第一と考え、製造工場と間接部門におけるセーフティの徹底を行っています。製造工場と間接部門におけるセーフティの内容および社会に対してセーフティを提供している関連会社をご紹介します。

製造工場におけるセーフティ



間接部門におけるセーフティ

→ 間接部門におけるセーフティ P.9-11



製造工場におけるセーフティ

自動化設備

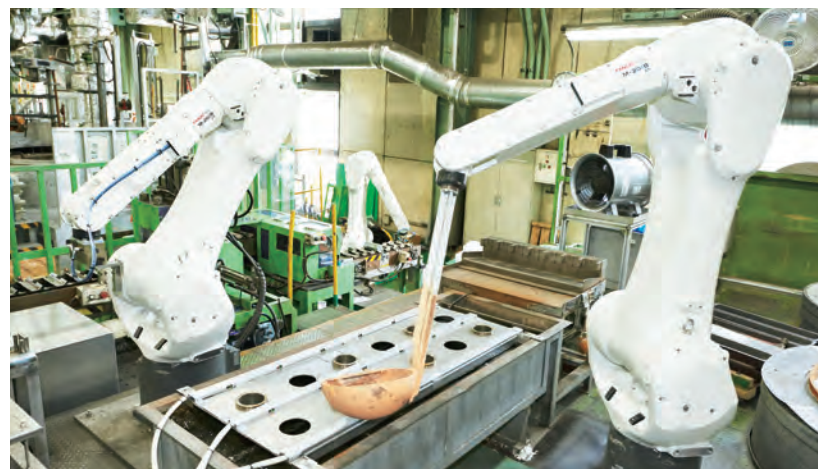
当社製品の製造や梱包、物流においては、以前は人の手が必要で、従業員にとって身体的・精神的負担になっていました。負荷軽減や安全性の向上、製造製品の品質や生産性向上のため、製造部門では自動化・ロボット化設備の導入を進めています。現在はマザー工場である栃木事業所が中心ですが、国内外の各生産拠点においても自動化・ロボット化設備の導入を精力的に進め、千住金属工業グループの次世代に向け発展・進歩していきます。



立体自動倉庫(栃木事業所物流部門)



台車型自立移動ロボット(本社物流部門)



はんだピレット自動製造ロボット(栃木事業所製造部門)

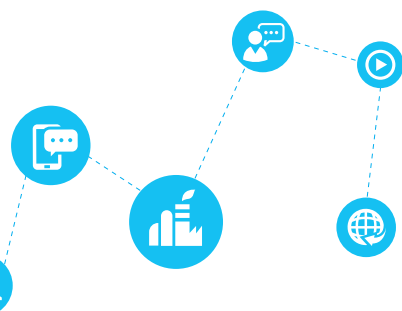
また、物流部門では、はんだ材料を高層ラックへ自動的に保管・入庫できる立体自動倉庫や、倉庫内の製品搬送を無人で行う台車型自立移動ロボットを導入し、従業員の負荷軽減と作業の効率化を図っています。



はんだボール自動計量・梱包ロボット(千住技研)

IoT分析システム

栃木事業所の棒はんだ自動鑄造・自動梱包設備ではIoT分析システムを導入し、製造した棒はんだ1本1本の重量と、設備周辺の気温やはんだ槽内の温度などの情報を収集・蓄積し、分析や自動化設備とのデータ連携を行うことにより製造製品の重量を一定に保っています。今後、他の自動化設備においてもIoT分析システムの導入を計画し、高度な製品管理を行っていきます。



分析(製品安全)

当社製品の分析検査は、第三者機関であり千住金属工業の関連会社である産業分析センター栃木試験所で行われています。産業分析センターは千住金属工業の化学分析部門が1972年に分離独立した関連会社で、分離独立化以前より続く約70年の経験と実績に裏打ちされた技術力、そして最先端の分析設備を備え、超高精度・精密分析検査を行っています。製品分析検査の依頼を受けてから最短6時間で分析結果を出せる体制を整えており、お客様の安心・安全な製品づくりの一端を担っています。



BCP(事業継続計画)



アメリカ・シカゴのはんだパウダー製造工場



はんだパウダー材

千住金属工業グループでは、自然災害、地震、火災、爆発、感染症などの緊急事態に備えて、各種リスクの評価・分析・対策を行い、被害を最小限にとどめ事業の継続能力を高めるためのリスクマネジメントの構築と、重要業務の早期復旧を図るための推進体制、行動計画を定めています。また、災害などの緊急事態により生産困難な拠点が合った場合、国内外の他拠点と連携して生産が継続できるようバックアップ体制の強化を行っています。はんだボールとフラックスを製造している宮崎の千住技研、はんだボールを製造している岩手の千住電子工業に加え、2019年度にはブリフォームの製造工場を兵庫県西脇市、ソルダペーストに使われるはんだパウダー材の製造工場をアメリカのシカゴに新たに設けました。

Column

避難訓練・消火訓練・救命講習の実施

千住金属工業グループでは、地震や火災などの災害から従業員の生命を守るため、消防署や警備会社の指導のもと、避難訓練・消火訓練・救命講習(AED講習)を毎年実施しています。昨年、栃木事業所内にて当社の従業員が倒れ心肺停止状態になる事態が発生しましたが、社内で連携し迅速に心肺蘇生、AED、脈の確認、通報を行ったことで、大切な命が失われることなく救助することができました。引き続き訓練・講習を実施し、救命技能の習得を進めていきます。



栃木事業所内での人命救助の功績を賞し、真岡消防署から感謝状をいただきました。

間接部門におけるセーフティ

5S活動

職場環境の維持改善活動である5Sは、快適な職場環境を整え、業務の効率が上がり、品質・生産性・安全性の向上にもつながります。千住金属工業グループでは各拠点で編成された5S徹底推進委員が毎月職場の5S巡回を行い、指摘・改善を行っています。

5S徹底推進委員が各部署の改善点や問題点を実際に見て知ることにより、自部署の5S改善を推し進め、また5S徹底推進委員会で改善に向けた議論を行うことで、全体的なレベルアップを図ることを目的としています。今後も千住金属工業グループ全体で5S活動を推進し、職場環境の改善を行っていきます。



Column

災害時に備えた工場内のスプリンクラー設置



千住金属工業グループでは、災害などによる火災に備え、事務所・研究棟の他に、製造工場内にもスプリンクラーを設置しています。

品質活動



スマートフォンやパソコンなどの電子機器、自動車、家電製品など様々な分野のお客様に、千住金属工業は材料製品を提供しています。千住金属工業では品質を、お客様のご要望を実現するための柱の一つと考え、日々工場内の品質改善活動を推進しています。また、第三者機関である産業分析センターで製品の分析検査を行い、その結果で合否判定することにより、検査における不正や偽装を防いでいます。2018年には、自動車産業の国際的な品質マネジメントシステム規格である「ISO/TS16949」から「IATF16949」に認証を移行しました。これからも、品質向上と継続的な改善に努め、お客様にご満足いただける製品をお届けします。

間接部門におけるセーフティ



人事労務

昨今、職場におけるハラスメントや長時間労働が社会問題となっています。千住金属工業グループは、従業員のメンタルヘルス不調を招き、働く意欲そして生きる意欲を奪う行為はあってはならないと考え、その防止を労務管理上重要な課題と捉え、様々な対策・改善を進めています。具体的には、スマイルメールや自己申告制度等の社内通報システムを活用したハラスメントの防止や、勤怠管理システムによる労働時間と在社時間の把握による長時間労働の抑制・指導を行っています。これからも従業員が安心して活き活きと活躍できる職場環境づくりを推進していきます。

知的財産

知的財産を一言で言えば、「価値のある情報」です。研究開発の成果や製造現場での改善活動等から生まれた技術、知見、ノウハウは価値のある情報です。知的財産部門では、この価値ある情報の権利化（例えば特許化）を図ったり、秘匿化（例えばノウハウとして秘密管理）するためのサポートや支援を行っています。当社の製品をお客様に安心してお使いいただけるよう、千住金属工業グループは、自社製品の保護及び第三者の権利を侵害しない取り組みを推進し、知的財産制度を有効に活用することで、会社の持続的成長に向けた事業活動の一助となり、さらには社会に役立つ価値の創出にも貢献していきたいと考えています。



情報セキュリティ

千住金属工業グループでは、BCP／DR*対策に加え、近年発生しているサイバー攻撃による被害に鑑み、情報セキュリティの管理運用を一層強化しています。昨今、サイバー攻撃に対する防御策を強化しても、100%防ぐことはできないと言われており、被害が発生した際の封じ込めや、迅速な復旧ができるように、基本的な行動計画の策定が重要とされています。従業員にルールや脅威を教育し、随時アップデートしていくことが、今後も重要だと考えています。

※DR：Disaster Recovery、災害復旧

業務監査

千住金属工業グループでは、リスクマネジメントと不祥事防止のために、グループ全体を対象とした内部監査（業務監査）を実施し、コーポレート・ガバナンスの強化に取り組んでいます。業務監査部門では健全な企業コンプライアンス維持を目的として、外為法に基づいた「安全保障輸出監査」とRBA行動規範に基づいた「CSR監査」、社内外の機密情報の取り扱いに関する「情報セキュリティ監査」を国内外の全拠点（176か所）に対して実施し、2018年度は293件の是正事項を検出しました。これらは正事項は各部署にて速やかに対策を講じ、継続的なマネジメントシステムの改善へとつなげています。



社会におけるセーフティ

千住スプリンクラー



人命と財産を守る価値を、社会に提供する



ヘッド製造ライン



ヘッド生産工程 D型

会社概要	
会社名	千住スプリンクラー株式会社
本社所在地	〒120-8555 東京都足立区千住橋戸町23番地
電話番号	03(3870)5011
FAX番号	03(3881)3199
取締役社長	田中 節夫
設立年月日	1974年4月8日
資本金	100,000千円
従業員数	192名(2019年1月1日現在)
業務内容	消火装置用スプリンクラーヘッド アラームバルブ、一斉開放弁等の製造販売 高圧ガス容器用可溶栓の製造販売

1963年、国産型式承認第一号の消火用スプリンクラーヘッドの開発に成功して以来、現在でも国内トップシェアを誇るスプリンクラーヘッドや関連バルブ製品・安全栓等、社会生活の安心・安全を担う製品を提供しています。消火用スプリンクラーヘッドに融点が高い特殊はんだを使うことで、金属特性を活かした的確な温度感知の仕組みを実現し、高品質・高信頼性に寄与しています。千住金属工業グループのはんだ技術を活用したシナジー効果により、これからも人命と財産を守る最良の製品をお届けします。

産業分析センター



高品質・信頼性を支えるとともに、地球環境の保全・予防に貢献する

産業分析センターは、千住金属工業の化学分析部門として出発し、その後非鉄金属分析業務の分社化に伴い、1972年2月設立されました。当社は各種材料や環境問題となっている物質に関して、正確な分析データを迅速に提供しています。なかでも内分泌攪乱性や生殖毒性など人体への悪影響が懸念される物質としてRoHS指令に追加（2019

会社概要	
会社名	株式会社産業分析センター
本社所在地	〒120-8555 東京都足立区千住橋戸町23番地
電話番号	03(3881)0541
FAX番号	03(3881)0547
取締役社長	川又 勇司
設立年月日	1972年2月8日
資本金	20,000千円
従業員数	104名(2019年1月1日現在)
業務内容	材料試験・分析 はんだ付け用フラックスの特性試験 環境関連 労働者派遣事業

年7月施行 EUへの上市禁止)されたフタル酸エステル類4物質の分析データを提供しています。また、動物や人体に悪影響がある難分解性有機フッ素化合物としてREACH規則の制限対象物質に追加され、含有量がしきい値25ppb*未満であることが求められているPFOAの分析も行っており、お客様より多くの分析要請をいただいています。これからも社会の安全と地球環境の保全・予防に貢献するため、分析領域（はんだ材料、RoHS-REACH、材料分析、環境分析）を拡げ、持続的に貢献していきます。

※ppb：Parts Per Billion、10億分の幾つにあたるかを表示する単位